

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2024年9月13日まで（1994年10月14日設定）
運用方針	JASDAQ上場株式へ投資し、信託財産の成長をめざします。運用にあたりましては、JASDAQ INDEXをベンチマークとしてアクティブ運用を行います。
主要運用対象	JASDAQ上場株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

JASDAQオープン



第25期（決算日：2019年9月17日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「JASDAQオープン」は、去る9月17日に第25期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			JASDAQ INDEX		株式先物比率	株式先物比率	純資産額	
		税込み 分配	み 金	期 騰 落	中 率	期 騰 落				中 率
	円	円		%		%	%	%	百万円	
21期(2015年9月16日)	13,207		50		1.0	107.09	1.7	96.7	—	1,547
22期(2016年9月16日)	13,878		500		8.9	110.77	3.4	96.9	—	1,491
23期(2017年9月19日)	18,692		4,100		64.2	158.91	43.5	101.4	—	2,677
24期(2018年9月18日)	19,373		450		6.1	162.84	2.5	92.5	—	3,940
25期(2019年9月17日)	17,312		0		△10.6	151.33	△7.1	94.7	—	3,017

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) JASDAQ INDEXとは、JASDAQ上場の内国株券全銘柄を対象として時価総額加重平均方式に基づき算出される株価指数です。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		JASDAQ INDEX		株式先物比率	株式先物比率
		騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首)	円		%		%	%	%
2018年9月18日	19,373		—	162.84	—	92.5	—
9月末	20,196		4.2	167.13	2.6	97.6	—
10月末	18,778		△3.1	155.29	△4.6	94.5	—
11月末	18,529		△4.4	156.55	△3.9	95.0	—
12月末	16,302		△15.9	136.69	△16.1	93.8	—
2019年1月末	17,106		△11.7	145.09	△10.9	95.9	—
2月末	18,187		△6.1	151.98	△6.7	94.1	—
3月末	18,494		△4.5	153.05	△6.0	94.4	—
4月末	18,587		△4.1	153.84	△5.5	95.5	—
5月末	16,945		△12.5	145.16	△10.9	95.4	—
6月末	17,638		△9.0	147.60	△9.4	92.7	—
7月末	18,007		△7.1	151.44	△7.0	96.9	—
8月末	16,739		△13.6	146.13	△10.3	96.8	—
(期末)							
2019年9月17日	17,312		△10.6	151.33	△7.1	94.7	—

(注) 騰落率は期首比。

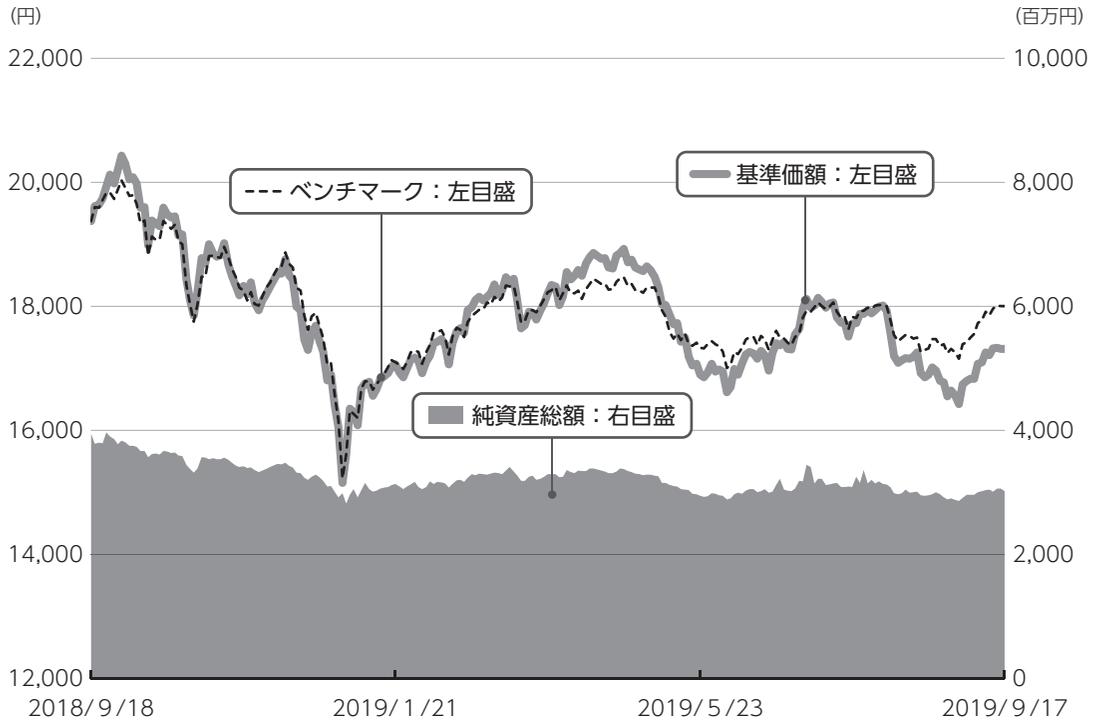
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第25期：2018年9月19日～2019年9月17日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第25期首	19,373円
第25期末	17,312円
既払分配金	0円
騰落率	-10.6%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ10.6%の下落となりました。

ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-7.1%）を3.5%下回りました。

基準価額の主な変動要因**上昇要因**

米国金利の引き上げペースが緩やかになる可能性などを背景に国内株式市場が一時的に上昇したことなどが基準価額の一時的な上昇要因となりました。

下落要因

米中貿易問題への不透明感などを背景に企業業績の先行き懸念が高まったことなどから国内株式市況が下落したことや組み入れを行った個別銘柄の株価下落などが基準価額の下落要因となりました。

銘柄要因

上位5銘柄・・・ワークマン、ヒビノ、東映アニメーション、インフォコム、精工技研

下位5銘柄・・・夢の街創造委員会、UTグループ、メイコー、芝浦電子、ラック

第25期：2018年9月19日～2019年9月17日

投資環境について

▶ JASDAQ市況

JASDAQ INDEXは下落しました。

期首から2018年12月下旬にかけては米国金利が上昇する場面があったこと、米中間の貿易摩擦の激化に伴い世界経済や企業業績の先行きに対して投資家の懸念が強まったことなどを背景に下落しました。

2019年1月上旬から4月中旬にかけては、米国金利の引き上げペースが緩やかになる可能性や、中国の景気対策に対する期待などから、回復基調となりました。

4月下旬から期末にかけては、米中貿易問題における交渉状況や各国中央銀行の金融政策、企業業績などを巡って一進一退の展開となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

JASDAQ上場株式のうち独自の技術やノウハウを有し、中長期的な成長が見込める企業などに選別投資を行いました。

組入銘柄数は53～58銘柄程度で推移させました。期首、期末の比較では、音楽等のランキング情報などを手掛けるオリコンなど2銘柄

を新規に組み入れました。一方、JASDAQから市場変更のあった、ITサービスを提供するインフォコムや経営コンサルティングなどを手掛ける山田コンサルティンググループなど6銘柄を全株売却しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-7.1%）を3.5%下回りました。

プラス要因

業種配分要因

卸売業をベンチマークに対してアンダーウェイトとしていたことなどがプラスに寄与しました。

銘柄選択要因

ヒビノや精工技研をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。

マイナス要因

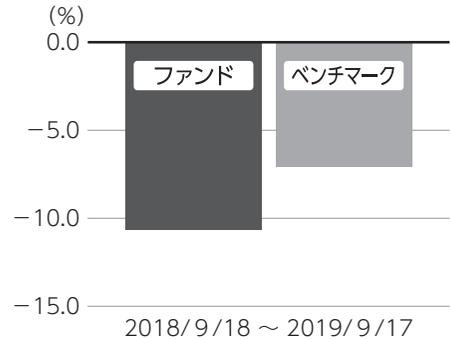
業種配分要因

その他製品をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことなどがマイナスに影響しました。

銘柄選択要因

放電精密加工研究所や芝浦電子をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがマイナスに影響しました。

基準価額と ベンチマークの対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第25期
	2018年9月19日～2019年9月17日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	7,311

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

主としてJASDAQ上場株式に投資します。各調査機関の企業調査データの活用や企業訪問などを通じ、中長期的に成長が期待できる企業に積極的に投資します。

技術力や経営資源だけでなく、事業環境の変化に対し明確な意思決定と強いリーダーシップを持つマネジメント力によっても、企業価値を継続的に高めることが可能と考え、このような企業にも積極的に投資する方針です。

今期の業績見通しに慎重な見方をする企業が多くみられる一方、小型株の中には高い技術力や独創的なサービスなどで好調な業績が続く見通しの企業もみられたと感じております。今後も中長期的な成長性や競争力などを勘案し、投資判断を行います。また、個別銘柄選別をコアの投資戦略としつつ、マーケット全体の方向性やセクター動向なども注視していく所存です。

2018年9月19日～2019年9月17日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	254	1.423	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(119)	(0.668)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(116)	(0.647)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(19)	(0.108)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	8	0.046	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(8)	(0.046)	
(c) その他費用	1	0.003	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	263	1.472	

期中の平均基準価額は、17,861円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

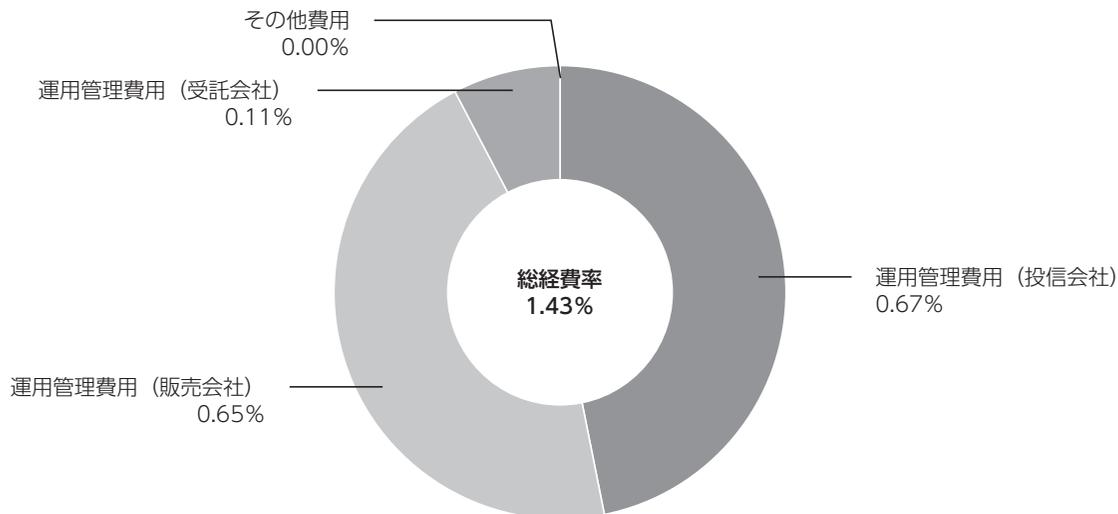
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.43%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2018年9月19日～2019年9月17日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株	千円	千株	千円
		434	699,490	485	1,089,237
		(40)	(-)		

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2018年9月19日～2019年9月17日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,788,728千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,095,009千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.57

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年9月19日～2019年9月17日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 699	百万円 103	% 14.7	百万円 1,089	百万円 220	% 20.2

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	1,499千円
うち利害関係人への支払額 (B)	223千円
(B) / (A)	14.9%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2019年9月17日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
食料品 (0.5%)				
岩塚製菓	3.4	3.4	13,090	
パルプ・紙 (0.8%)				
ニッポン高度紙工業	6.5	6.5	7,819	
ハビックス	32.6	23.5	15,369	
化学 (8.4%)				
ウルトラファブリックス・ホールディングス	58	58	69,542	
ボラテクノ	37	—	—	
エスケー化研	4	0.8	34,680	
ハーバー研究所	5.5	12.9	102,039	
綜研化学	27.6	27	33,318	
医薬品 (2.0%)				
カルナバイオサイエンス	14	29	56,840	
ミズホメディー	19.2	—	—	
鉄鋼 (0.7%)				
パウダーテック	9	6.8	19,006	
非鉄金属 (0.0%)				
エヌアイシ・オートテック	18.5	0.2	161	
金属製品 (0.5%)				
エスイー	30.2	49	14,602	
機械 (16.9%)				
N I T T O K U	30.3	36	96,876	
小田原エンジニアリング	26	30	60,600	
ニューフレアテクノロジー	4	3.1	23,994	
フロイント産業	57.9	55.1	41,820	
ハーモニック・ドライブ・システムズ	29.8	31.5	141,120	
鈴茂器工	38.1	24.2	32,670	
ユニバーサルエンターテインメント	14.8	13.5	46,507	
放電精密加工研究所	45.2	45.2	38,555	
電気機器 (10.4%)				
S E M I T E C	—	5	13,885	
寺崎電気産業	41.3	41.3	38,161	
メイコー	24.8	31	47,616	
精工技研	20.8	18	51,282	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
フェローテックホールディングス	39.7	56	52,192	
アパールデータ	8	15	23,820	
芝浦電子	15.1	16.2	41,796	
フクダ電子	4.6	4.2	28,644	
輸送用機器 (0.4%)				
八千代工業	18.4	16.6	10,076	
精密機器 (6.3%)				
ナカニシ	60.2	53.7	94,834	
ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング	77.6	97	85,069	
その他製品 (3.9%)				
フルヤ金属	18	23	87,630	
ビーブル	21	21	22,701	
情報・通信業 (12.5%)				
クルーズ	14.5	12	11,832	
夢の街創造委員会	34.1	19	27,816	
U L S グループ	25.2	26	67,236	
ラック	57.8	19	26,467	
プロトコーポレーション	23.7	—	—	
インフォコム	30	—	—	
オリコン	—	18	27,072	
東映アニメーション	21.7	21.9	107,419	
神繩セルラー電話	23.1	25.6	90,368	
卸売業 (2.2%)				
エフティグループ	15.1	14.1	19,458	
ムサシ	23.2	23.2	44,660	
小売業 (14.7%)				
日本マクドナルドホールディングス	48.5	41.4	207,828	
セリア	25.1	17	46,121	
ワークマン	13.4	24.2	167,464	
証券、商品先物取引業 (2.9%)				
GMOフィナンシャルホールディングス	129.1	136.1	82,884	
保険業 (0.5%)				
ニュートン・フィナンシャル・コンサルティ	27.7	7	15,442	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
不動産業 (-%)				
ハウスコム	14.4	-	-	-
サービス業 (16.4%)				
UTグループ	42.6	18	39,204	
ヒビノ	44.9	34.8	84,042	
セブテーニ・ホールディングス	72	268	86,028	
エイジス	11	12.8	40,512	
トスネット	26.9	26.9	30,746	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
モーニングスター	157.8	157.8	58,859	
エフアンドエム	59.5	42	54,348	
山田コンサルティンググループ	26.8	-	-	
三協フロンテア	23.5	23.7	76,551	
合 計	株 数 ・ 金 額	1,852	1,842	2,858,677
	銘柄数<比率>	58	54	<94.7%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2019年9月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	2,858,677	92.7
コール・ローン等、その他	223,827	7.3
投資信託財産総額	3,082,504	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年9月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,082,504,741
コール・ローン等	215,644,134
株式(評価額)	2,858,677,000
未収入金	3,792,734
未収配当金	4,390,873
(B) 負債	64,542,472
未払解約金	42,161,251
未払信託報酬	22,336,893
未払利息	393
その他未払費用	43,935
(C) 純資産総額(A-B)	3,017,962,269
元本	1,743,279,842
次期繰越損益金	1,274,682,427
(D) 受益権総口数	1,743,279,842口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,312円

<注記事項>

- ①期首元本額 2,033,932,062円
 期中追加設定元本額 2,226,283,102円
 期中一部解約元本額 2,516,935,322円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.7312円です。

②分配金の計算過程

項 目	2018年9月19日～ 2019年9月17日
費用控除後の配当等収益額	-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	1,274,680,670円
分配準備積立金額	1,757円
当ファンドの分配対象収益額	1,274,682,427円
1万口当たり収益分配対象額	7,311円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

○損益の状況 (2018年9月19日～2019年9月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	45,117,658
受取配当金	45,211,415
受取利息	159
その他収益金	2,765
支払利息	△ 96,681
(B) 有価証券売買損益	△ 149,490,313
売買益	542,480,668
売買損	△ 691,970,981
(C) 信託報酬等	△ 45,992,670
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 150,365,325
(E) 前期繰越損益金	△ 9,611,376
(F) 追加信託差損益金	1,434,659,128
(配当等相当額)	(630,983,500)
(売買損益相当額)	(803,675,628)
(G) 計(D+E+F)	1,274,682,427
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	1,274,682,427
追加信託差損益金	1,434,659,128
(配当等相当額)	(630,983,500)
(売買損益相当額)	(803,675,628)
分配準備積立金	1,757
繰越損益金	△ 159,978,458

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。